

国内外規格・認証制度研究会(第27回)議事録

【日時】 2013年9月20日(金) 15:00～16:45

【場所】 富士通総研会議室(竹芝)

【出席者(敬称略)】 日下、田代、多田、折笠(記録) [出席者合計4名]

【資料】

- (1) 第27回研究会: 本日の議題(折笠)
- (2) 事業継続に関する法制や規制のある国の分布(多田)
- (3) ICT関連 ISO マネジメント規格における事業継続に関する記述の調査(作業中)(折笠)

【議事要約】

1. 最新情報共有(BCAO 情報、ISO 状況等)(折笠)

(1) B C A O 運営会議より

(a) スケジュール関係(最近の実績と予定)

- ・ 8 月度月例会(帰宅困難者対策関連): 8/29(木)実施
- ・ 9 月度月例会(DCP 地域継続計画): 9/17(木)実施
- ・ 事業継続と両輪の企業防災(個別リスク対策)の講習及び意見交換: 7/3(水)～3/19(水)合計20回開催予定
- ・ B C A O 事業継続普及セミナー(招待講演「英国の事業継続の取組みと企業の実例(仮)」メリッシュ氏(BCI 会長(英国最大の小売業者の元 B C 責任者))): 11/11(月)東京、11/12(火)名古屋、11/13(水)大阪

(2) ISO/TC223 状況(ISO, JSA より) 2013.9.17 時点

- ・ ISO 22398 [演習の指針] (2013年9月13日 IS 発行、邦訳版未)
- ・ ISO/CD 22325 [組織の緊急事態対応能力評価の指針] (CD 投票終了)

(3) ISO 22301 国内認証取得状況(JIPDEC より)

- ・ 9月17日時点で30組織がISO22301認証取得(BS25999-2認証からの移行が21社で新規取得は9社)。これにBS25999-2認証分と非公表分を含めると全体で45組織が認証を取得。(折笠)

2. 2013年度研究テーマの検討

(1) 2013年度研究テーマの検討

2013年度の研究テーマ(案)と検討状況は以下のとおり。今回の議論の結果、研究テーマについては了承され、テーマ内容の検討を進めることとなった。

(a) 国内外 B C 規格や認証制度等に関する調査・研究

以下の3テーマ案について検討し、テーマ内容の検討を進めることとなった。

(i) 海外規格や認証制度等に関する調査・研究【テーマ a 1】

- ・ 昨年実施したシンガポール、米国に加え、海外 B C 規格や関連する法制度・規制などの適用分野の調査の試行として、「事業継続に関する法制や規制のある国の分布」を調査してみた。金融業に関する規制がある国が多いが、米国ではそれ以外にも社会インフラ企業に関する規制がある。(多田)

(ii) 国内ガイドラインや認証以外の制度の調査

・内閣府事業継続ガイドライン(平成 25 年 8 月改定)の変更点などの調査【テーマ a 2】

内閣府事業継続ガイドライン(平成 25 年 8 月改定)の第一版、第二版からの変更点(例・チェックリスト比較、経営者への提言比較、比較差分の ISO22301 との関係有無など)を中心に調査し、BCPに関する重要要素(戦略や知識分野等)の規定内容の理解を深める。(折笠)

顧客コンサル対応でも内閣府ガイドライン準拠による ISO22301 要求事項の充足性を評価するような取り組みがあり、類似の観点である。研究テーマとしても面白いと考える。(田代)
コンサル業界側でないユーザ側としても興味深い。(日下)

・地方自治体の事業継続支援対策・制度の調査【テーマ a 3】

いくつかの地方自治体において、事業継続人材の養成や中小企業に対する事業継続策定の支援を行っているケースがある。これら支援制度の存在や支援対策などについて具体的な内容等を調査する。(折笠)

(b) ISO 22301 規格内容の理解と適用方法の調査・研究

・ISO22301 各条項の関連規格の関係性の整理【テーマ b 1】

関連規格の具体的な定義の差異や参照内容の明確化を図る。具体的には、ISO 31000、ISO/IEC 27001、ISO 20000-1、ISO 27031、ISO 28000 などの参照内容を明確化することや、ISO22301 要求事項と ISO22313 指針の対比、BCMS ユーザーズガイド(JIPDEC)の調査などを行う。(折笠)

今回、この検討の試みとして、ICT関連 ISO マネジメント規格における事業継続に関する記述の調査(作業中)を実施してみた。ICT 関連であれば、サービスマネジメントの規格である ISO 20000 系を中心にまとめると整理しやすいのではないか。(折笠)

ISO28000 がサプライチェーンのレジリエンスについて規定しているが、現時点では国内で認証する仕組みがなく、あまり知られていない。本日は資料がないが、東京海洋大の渡邊先生が面白いプレゼンをしていたことがある。(田代)

・ANSI/ASIS SPC.4 「組織レジリエンスマネジメントシステムの段階的実践のための成熟度モデル」の調査【テーマ b 2】

BCMSにおける要求事項はあっても、成熟度モデルの規定はないので、その内容について調査する。(折笠)

・BCPに関する重要要素の規定内容の研究【テーマ b 3】

代替戦略の考え方、危機管理や事業継続の責任者・担当者に求められる具体的な知識分野などの研究を行う。

(c) ISO 22301 規格に関する国内主要企業の意識調査(アンケート調査実施)【テーマ c】

昨年の準備結果を継承し、継続して、アンケート調査を実施する。ただし、アンケート実施の実業務そのものは、BCAO事務局に依頼するつもりであるが、相談はこれからである。(折笠)

アンケートの項目として、世間に流通している各種のガイドライン・規格の中で最も影響力のあるものは何かを調査するのは、興味深いと思われる。しかし、既存のアンケートがいくつかあるため、それらとの棲み分けを明確にしないと後発で行う意味がない。また、単なる表面的な質問ではなく、特定の課題認識に基づいて質問を行う必要があると思う。(田代)

(2) 研究テーマの分担案と参考文書の入手方法について

- ・ 研究テーマの分担に当たっては、コンサル会社や認証会社などのメンバーはISO規格を入手しやすいが、一般企業のメンバーはISO規格の入手が難しいことが多いことを考慮し、ISO規格の調査が必要なテーマは入手しやすいメンバーが主に検討を進め、入手しにくいメンバーは主に公開資料を中心に検討が進められるテーマを分担する方向とした。
- ・ 公開資料の例として、「内閣府 事業継続ガイドライン」、「BCMS ユーザーズガイド」、「ASIS SPC.4」、「ASIS SPC.1」の4種の参考文書の入手方法(無償)を紹介した。

【メンバー各位への依頼事項】

上記のテーマ分類a1、a2、a3、b1、b2、b3、cの中から各位の分担テーマを選んでいただき、次回研究会までに検討に着手してみてください。

(3) 2013年度の研究会活動のスケジュールの検討

- ・ 今年度の研究会の開催は、7月、9月、11月、1月、3月の5回を予定。

3. 次回開催予定

- ・ 【日時】 2013年11月15日(金)15:00～17:30 富士通総研・会議室にて開催(以降、隔月開催予定)
- ・ 【議題】
 - (1)メンバー各位分担の研究テーマの検討状況・結果
 - (2)その他

以上